

森林資源生産学特論 (2単位)

担当者氏名 佐藤明・今富裕樹・上原巖・菅原泉

◆学習・教育目標

林学専攻では森林の保全と持続的な利用を目指して、総合的な研究能力と管理能力を養う教育目標がある。森林資源生産特論では、森林の育成から伐採搬出までの総合的な研究能力を養うために、森林、特に人工林を育成するための樹木生理、森林立地、更新、その後の森林内の動植物の環境要因や目的樹種間の競争を理解させ、また、森林の伐採、搬出に必要な森林基盤である林道・作業道や林業機械について教授する。さらに森林資源生産を通じて生じる労働災害とその防止策についても修得させる。そのための授業として、資料には英文誌も利用して語学能力を高める。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

森林立地
造林
樹木生理
林業工学
森林機械
森林作業システム
森林資源

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	森林資源生産とは	森林資源生産のガイダンス	育林と伐採搬出に関する技術及びそれらをシステム化した一連の森林資源の生産技術を修得する。佐藤・上原・菅原が森林の更新から森林施業までの育林関係を、今富が森林基盤の整備として、林道・作業道の機能から施工技術、機械作業を担当、ともに関連するテーマについてはリンクするなどして行う。
2	森林の成立と構造 (第2～4週)	森林の立地環境、群落構造、林木の生育特性、動植物の多様性保全、及び天然更新技術を修得	
3	森林の育成と保育 (第5～7週)	植栽から種間、種内の競争の緩和等の初期保育、及び持続的管理のための育林技術を修得	
4	林道・作業道の機能と施工 (第8～10週)	林道・作業道の機能と配置と評価、及び施工技術を修得	
5	森林機械の作業とシステム (第11～13週)	伐採搬出の各種技術、及び効率的で安全性の高い森林機械システムを修得	
6	森林施業と労働災害防止 (第14週)	森林資源の生産に当たって生じやすい労働災害とその防止策を修得	
7	森林資源生産のシステム (第15週)	更新から育成、伐採、搬出と森林資源を生産する安全で効率的な一連のシステムを修得	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

指導教授により、適宜、周知する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

指導教授により、適宜、周知する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート等により評価を行う。

◆その他受講上の注意事項

教員から教わるのではなく、自ら進んで学び、新たなシステムを構築するという態度で授業に参加して欲しい。